

躍進する植物工場

主催 : (財)社会開発研究センター 植物工場・農商工専門委員会
後援 : 経済産業省 農林水産省 日本生物環境工学会 (交渉中)
協力 : (株)技術情報協会

- 日程 : 平成21年7月23日(木) 10:30~16:50 ※終了後懇親会
- 会場 : 東京大学 農学部 弥生講堂 (東京大学農学部正門横)
会場地図URL : <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.pdf>
- 参加費 : 植物工場・農商工専門委員会会員 無料(1名)
: 非会員 10,000円(税込) : 懇親会費 5,000円(税込・会員1名無料)

本年1月に経産省と農水省が共同で「農商工連携研究会植物工場ワーキンググループ」を発足させ、4月に取り纏め内容が公表されました。早速、植物工場に対する今年度の補正予算がつき、来年度以降も両省による植物工場への支援が期待されます。これを受けて経産省所轄の(財)社会開発研究センターでは「植物工場・農商工専門委員会」を立ち上げ、植物工場普及の一助を担うことになりました。その第一弾として植物工場に関する特別シンポジウムを下記の要領で開催する運びになりました。関係各位のご参加をお願い申し上げます。

プログラム(講師等は変更となる場合がございます。)

【10:30~10:35】

§ 1. ごあいさつ「植物工場への期待」

(財)社会開発研究センター 会長 野田一夫 氏

【10:35~11:05】 質疑応答含む

§ 2. 「植物工場普及の課題と経産省の取組について」

経済産業省 地域経済産業政策課 筑紫正宏 氏

【11:05~11:35】 質疑応答含む

§ 3. 「植物工場普及の課題と農水省の取組について」

農林水産省 生産流通振興課 伊藤耕志郎 氏

【11:35~12:35】 質疑応答含む

§ 4. 「完全制御型植物工場の技術・コストの現状と展望」

(財)社会開発研究センター
植物工場・農商工専門委員会委員長 高辻正基 氏

【13:30~14:30】 質疑応答含む

§ 5. 「太陽光併用型植物工場による 栽培技術と経営・販売戦略」

JFEライフ(株) 常務取締役 佐藤邦昭 氏

【14:30~15:20】 質疑応答含む

§ 6. 「植物工場用高出力LED照明の開発」

昭和電工(株) 営業部長 鈴木廣志 氏

【15:20~16:20】 質疑応答含む

§ 7. 「事業成功する植物工場を目指した HEFL技術紹介と具体的事業化モデル」

日本アドバンスアグリ(株) 代表取締役 辻 昭久 氏

【16:20~16:50】 総合討論

終了後 懇親会

[会費5,000円 事前申し込み 先着順]

セミナー申込書(希望セミナーにレ印をご記入ください)

会社名	〒	事業所 事業部	<input type="checkbox"/> 「植物工場」 <input type="checkbox"/> 「懇親会」	No.901447・7/23 ご参加ご希望の方は チェックをお願いします。
住所	TEL	FAX		
所属部課 役職名	氏名(フリガナ)	e-mail		
受講者1			ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師の方へもお知らせいたします)。個人情報の詳しい取り扱いにつきましては、宛名の用紙、又は下記URLをご参照ください。 http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm	
受講者2				
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)			[郵送(宅配便)・FAX・e-mail]	



技術情報協会

TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

FAX 03-5436-5080

[申込専用]

【特別シンポジウム】『躍進する植物工場』

【10:30～10:35】

§ 1. ごあいさつ「植物工場への期待」

(財)社会開発研究センター 会長 野田一夫 氏

【10:35～11:05】 質疑応答含む

§ 2. 「植物工場普及の課題と 経産省の取組について」

経済産業省 地域経済産業政策課 筑紫正宏 氏

【11:05～11:35】 質疑応答含む

§ 3. 「植物工場普及の課題と 農水省の取組について」

農林水産省 生産流通振興課 伊藤耕志郎 氏

【11:35～12:35】 質疑応答含む

§ 4. 「完全制御型植物工場の 技術・コストの現状と展望」

(財)社会開発研究センター
植物工場・農商工専門委員会委員長 高辻正基 氏

最近の食の安全・安心の風潮から、無農薬・新鮮・清浄な野菜を天候や場所に捉われずに周年供給できる植物工場がにわかに注目を集めている。蛍光灯やLEDの導入、コストダウンの努力、そして流通経路の工夫により、完全制御型植物工場が実用化の段階に近づいてきた。技術とコストの現状、企業の参入状況などについて概説する。

- 1 植物工場の意義
- 2 栽培光源
- 3 実際の完全制御型植物工場
- 4 植物工場の採算性
- 5 流通経路の開拓などの課題

【13:30～14:30】 質疑応答含む

§ 5. 「太陽光併用型植物工場による 栽培技術と経営・販売戦略」

JFEライフ(株) 常務取締役 佐藤邦昭 氏

1. はじめに
2. 当社野菜事業の経緯
3. エコ作商品の概要
(1)商品構成とその特徴 (2)味および栄養価の特徴
4. エコ作栽培設備と制御の概要
(1)野菜栽培のコンセプト (2)栽培環境調整設備と制御
(3)養液調整設備と制御 (4)収穫量の向上対策
5. 販売量の推移
6. 栽培コストの概要

【14:30～15:20】 質疑応答含む

§ 6. 「植物育成用4元系LED素子の開発について」

昭和電工(株) 営業部長 鈴木廣志 氏

昭和電工株式会社は、植物育成に最適な波長660nmの光を発する4元系赤色LED素子の開発に成功しました。このLED素子は、波長の制御と、出力の向上と言う二種類の技術開発を組み合わせることにより開発したもので、当社従来品に比べ約3倍の輝度を達成しました。素子の諸特性と期待される効果についてご紹介いたします。

1. LED光源について
2. 赤色(660nm)LEDの高出力化
(1)AlGaAs(3元系) (2)AlGaInP(4元系)
3. 開発したLEDの基本性能
(1)光学特性(2)電気特性(3)信頼性
4. パッケージ、灯具への応用
5. 期待される効果と今後の課題

【15:20～16:20】 質疑応答含む

§ 7. 「事業成功する植物工場を目指した HEFL技術紹介と具体的事業化モデル」

日本アドバンスアグリ(株) 代表取締役 辻 昭久 氏

1. 植物工場の現状と具体的な課題
(1)事業化やマーケット調査から見えてくるもの
(2)他社の事例から課題を探る
2. HEFL技術とは？
(1)発光技術、波長特性 (2)照明装置、最新反射板
3. HEFLの自社事例、実験(青、赤波長の実例)
(1)自社実験ライン (2)機能性野菜
4. 実用化に向けての事業モデルとコスト検証
5. 農商工連携
6. 実験装置、量産装置紹介
7. 今後、新産業として成長させるには・・・

【16:20～16:50】 総合討論

終了後 懇親会

【会費5,000円 事前申し込み 先着順】

●申込要領

●受講料について

受講料は返金致しませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席下さい。

●申込方法

1. 参加ご希望の方は、裏面申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
2. ホームページからも申し込みできます。

<http://www.gijutu.co.jp/>

3. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送り致します。
4. お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。

●支払方法

1. 銀行振込・現金書留にてお願い致します。
2. 原則として開催日までにお願ひ致します。
3. 後日になる場合は予定日をご明記下さい。
4. 銀行振込の場合は原則として領収証の発行は致しません。
5. 振込手数料はご負担下さい。



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

〒141-0031

東京都品川区西五反田2丁目29番5号 日幸五反田ビル8F

TEL 03-5436-7744

FAX 03-5436-5080(申込専用)